

飯田武郷 （以次） 國學者、舊高島藩士。文政十年十一月八日江戸（高島藩邸）生れ、明治二十二年八月二十六日歿（一八七一—一九〇〇）。通稱彦介・彦助、守人。號蓬室、藤原朝臣武郷。安政元年在平田篤胤歿後門人として平田篤胤の入門。また和歌を海野幸典の學ぶ。幕末會黨運動に奔走。維新後東京大學助教、官典講究所・國學院・慶應義塾各講師を務め、大八洲學會を創設。完成の四十餘年を費した著『日本書紀通釋』は有名。

著書『校訂神皇正統記』（久米幹文共校訂・服部元彦補助、明治二十四年五月九日國語傳習所）、『日本史學新説』（合著・廣池千九郎監輯、明治二十五年十一月十一日史學普及雜誌社）等。

文獻、坂本箕山著『（維新の烈士）飯田武郷翁傳』（昭和十九年一月十七日附文社）等。